

環境に優しい 電動飛行機の研究

排出ガスが無く、静かな飛行を実現 電池とモーターで空を飛ぶ飛行機

電気ので飛ぶ、そんな飛行機って実現できるでしょうか？
これまでの飛行機は、ガソリンやジェット燃料を燃焼させ、そこで発生させたエネルギーを推進力に変えていました。そのため、排出ガスや大きな騒音が発生していました。そこで、推進のためのエネルギーを搭載した電池によって供給することで、これらの問題を解決しようとする”電動飛行機”が考えられています。電動化によりエネルギーコストも低く、運航費も低減すると期待されています。さらに、モーターへのエネルギーの供給を電線で行うことが可能となるため、燃料配管や燃料ポンプが不要となり、自由度の高い機体レイアウトが可能となります。そのため、これまでは無い新しい形態の飛行機が実現できます。崇城大学では、電動推進システムの基礎研究から新しい機体形状設計まで、電動飛行機の実現に向けた研究に取り組んでいます。

